

「外国人を雇用する企業のための企業診断手法

～企業診断3事例および業種別人材マネジメントの診断ポイントとマクロ知識～

同報告書は、外国人を活用、あるいはその検討を行っている中小企業に対して経営診断を行う上で、どのような視点や知識、法律・制度上の留意点があるかをまとめたものである。

同調査の意義として3点挙げられる。まず、中小企業診断士が診断の対象としている中小企業の中には、外国人を雇用している企業数が比較的多い点が挙げられる。都道府県別では、特に、東京、愛知、静岡、神奈川、大阪に多く、また、業種でいくと、製造業、建設業、宿泊業、飲食業などの業種において、外国人を活用している企業が多い。よって、こうした地域・業種においては、中小企業診断士が外国人を雇用する企業を診断する機会は多いといえる。また、少子高齢化を支える人材として、介護分野などにおいて、外国からの人材流入が予想される。こうしたニーズ面での増加がある一方、中小企業診断士側では、人材マネジメントの観点、特に外国人のマネジメントにあたってどのような知識や視点が必要なのかについては、あまり共有化されていないことが第二の意義である。第三に、外国人労働者が関連する課題（不法就労、研修・技能実習制度の悪用、賃金の未払い、不当解雇、偽装請負等）が昨今大きく問題となっており、そうした課題解決のためには、中小企業の現場に近い中小企業診断士が、同分野における関連知識を増やしていくことが益々必要となっていることが背景にある。

本調査では、上述のニーズに応えるべく、実際の診断事例をもとに、外国人を雇用している企業の診断のポイントを業種別に学び、また関連法律や制度などのマクロ情報を簡易に参照することができるよう編纂した。

第1章では、中小企業診断士の現場となる、外国人を雇用している企業診断の実例をまとめている。人手不足やグローバル化などの課題を抱える企業に対し、ソリューションとしてどのような外国人人材が候補となるのかをアドバイスできるよう、「外国人人材オプションツール」を巻頭にまとめている。この診断ツールを用いて、具体的にどのように企業側に、経営や人材に関するアドバイスを提示するのかを、第1章の企業診断事例（①型枠大工業、②電気設備製造業、③IT関連業）で示している。

また、第2章では、外国人人材の種類、必要な在留資格・人事・労務・税務に関するマクロ情報を取りまとめた。

第3章では、外国人の雇用の多い業種（建設業、製造業、介護、飲食業、宿泊業、IT関連業）の診断ポイントについてあわせてまとめている。

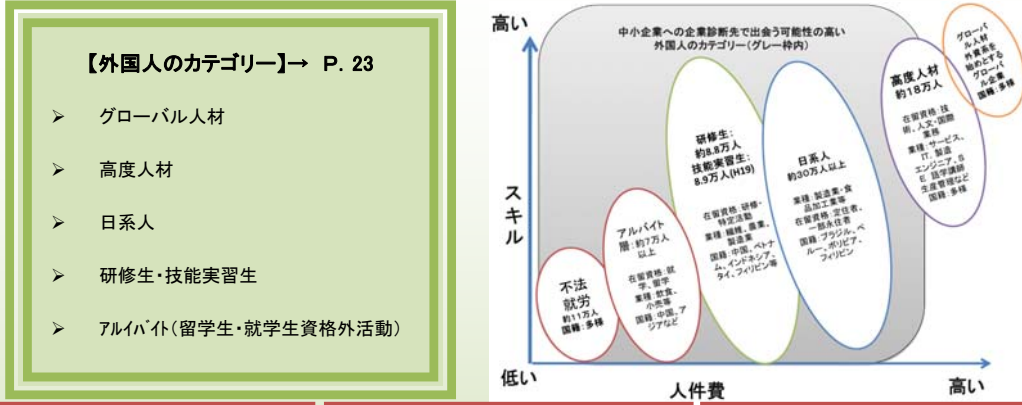
最後に、中小企業診断士の診断現場からみた政策提言を第4章にまとめている。

同報告書が、中小企業における真のグローバル化を後押しする一助となれば、大変幸いである。

「外国人を雇用する企業のための企業診断手法」

調査サマリー

【第2章】 外国人人材に関するマクロ基礎情報 P. 23



<p>【在留資格の基礎知識】→P. 33</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の入管法の理解 就労可能な在留資格の確認 外国人雇用の際のチェックポイント 在留資格 審査のポイント 	<p>【人事・労務の基礎知識】→P. 43</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働法の原則 労働法関連の雇用手続き 外国人の新卒採用 雇用と異文化コミュニケーション 	<p>【税務の基礎知識】→P. 50</p> <ul style="list-style-type: none"> 居住者・非居住者の判定 非居住者・居住者の課税 源泉徴収・年末調整の流れ よくある事例
---	---	--

【第3章】 業種別診断のポイント P. 58

<p>【建設業の診断ポイント】→P. 58</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修生・技能実習生の入場制限 人材・育成のポイントと海外展開との連携
<p>【製造業の診断ポイント】→P. 62</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル化への対応方法 長期的な高度人材の確保・育成方法
<p>【介護分野の診断ポイント】→P. 67</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人労働者受け入れの背景と現状 受入に伴う課題と診断ポイント
<p>【飲食業の診断ポイント】→P. 76</p> <ul style="list-style-type: none"> 留学生・就学生の現状、アルバイト人材活用ポイント
<p>【宿泊業の診断ポイント】→P. 84</p> <ul style="list-style-type: none"> 宿泊業の現状、研修生の人材活用ポイント
<p>【IT関連業の診断ポイント】→P. 89</p> <ul style="list-style-type: none"> マクロ状況 外国人高度人材の活用と診断のポイント

【第1章】 診断事例 P. 6

<p>【診断事例① 型枠大工】→P.6</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上高回復の方策 研修生・技能実習生の戦略化 面接時・着任時の工夫 研修・技能実習制度改正によるコスト上
<p>【診断事例② 電気設備メーカー】→P. 12</p> <ul style="list-style-type: none"> 多品種少量生産・高度技術化の現状 研修生・技能実習生の戦略化 第1次受入先機関の評価と選択 研修の改善(着任・技能・語学)
<p>【診断事例③ IT関連業】→P. 15</p> <ul style="list-style-type: none"> システム開発事業の拡大に伴う中国進出 グローバル展開とあわせた人材戦略 高度人材の採用方法の工夫 人事評価制度の確立

【第4章】 中小企業診断士の現場からみた政策提言→P.96

<p>【提言1】</p> <p>研修・技能実習制度による一次受入先機関の格付け・質を判断するための情報公開</p>
<p>【提言2】 経営的に破たんしている</p> <p>第二次受入先機関の研修生・技能実習生の原則的受</p>
<p>【提言3】 中小企業のグローバル化支援とタイアップした高度人材の採用促進支援</p>